

イ 各部研究主題

部 会	研究主題・昭和63年度（第2年次） 研 究 副 主 題
国 語	国語科における自ら学ぶ力を育てる指導はどうか。 ○表現領域における「自ら学ぶ力を育てる授業」の展開
社 会	課題意識をもって意欲的に学習に取り組む態度を育成するため、社会科の授業をどうすればよいか。 ○生徒一人一人に課題の解決の方法を身につけさせる指導法の工夫
数 学	生徒一人一人の課題追求の意欲を高め、自ら学びとる力を身につけさせるには、どのように指導すればよいか。 ○「図形」「確立・統計」の領域について
理 科	生徒が自ら意欲的に自然を調べるための授業は、どうか。 ○観察・実験の個別化の工夫
音 楽	音楽の美しさを求め、意欲的に学習する生徒を育てる指導はどうしたらよいか。 ○自ら学び、学習の喜びを味わわせる指導過程の工夫
美 術	意欲的にとりくませ、造形活動の喜びを味わわせる指導はどうか。 ○表現意欲と題材
保 健 体 育	運動の合理的な実践を通して、強い意志力や体力をいっそう高める授業はどうか。 ○強い意志力や体力を高める手だての工夫
技 術 ・ 家 庭	創造性を伸ばし、実践力を育てる学習指導はどうか。 ○仮説に基づいた実践
外 国 語 (英 語)	生徒一人一人の表現力を伸ばすには、教科書の活用と授業展開をどう工夫したらよいか。 ○言語活動を広げるための指導過程の改善研究
道 徳	価値を主体的に自覚し、道徳の実践力を高める道徳の時間の指導は、どうか。 ○価値を主体的に自覚し、道徳の実践力を高める指導過程の工夫
特 別 活 動	望ましい集団活動を通して、自主的、実践的な態度を育てる特別活動の指導はどうか。 ○意欲的に活動する生徒の育成

② 組織及び財政の状況

- 会 長 加 藤 茂 雄 福島市立岳陽中学校
- 会員数 4,710名
- 昭和63年度の決算額 9,580,450 円
上記のうち県補助金 1,360,000 円

③ 主な事業

- 研究協議会
- ア 主 催
福島県教育委員会、福島県中学校教育研究会

イ 期日・会場

(ア) 支部研究協議会 7月22日～8月25日の内1日間

県内16会場

(イ) 県研究協議会 10月12日～10月13日の2日間
県中・県南地区12会場

ウ 参加者

- 国、公、私立の中学校教員
- 支部研究協議会 4,581名
- 県研究協議会 1,200名

エ 指導助言者

指導主事、指導委員、校長、教頭、教諭等

(4) 福島県小学校長会

① 組織及び財政の状況

- 会 長 村 岡 房之助 福島市立福島第二小学校
- 会員数 552名
- 昭和63年度の決算額 7,751,230 円
上記のうち補助金額 240,000 円

② 主な事業

- 第17回福島県小学校長会研究協議会相馬大会
- ・研究主題 21世紀に生きる日本人の育成をめざす小学校教育の創造
- ・開催期日 10月5日・6日
- ・開催地 相馬市
- ・参加者 553人

(5) 福島県中学校長会

① 組織及び財政の状況

- 会 長 佐 藤 寛 福島市立福島第四中学校
- 会員数 244名
- 昭和63年度の決算額 4,192,393 円
上記のうち補助金額 170,000 円

② 主な事業

- 第38回東北地区中学校長会福島大会
- ・研究主題 21世紀を拓く日本人を育成する中学校教育
- ・開催期日 6月30日・7月1日
- ・開催地 福島市
- ・参加者 807名
- 第17回福島県中学校長会研究協議会相馬大会
- ・研究主題 21世紀を拓く日本人を育成する中学校教育
- ・開催期日 10月5日・6日
- ・開催地 相馬市
- ・参加人数 249名

(6) 福島県公立小・中学校教頭会

① 組織及び財政の状況

- 会 長 丹 治 和 美 福島市立大森小学校
- 会員数 839名
- 昭和63年度決算額 5,919,744 円
上記のうち補助金額 210,000 円

② 主な事業

- 第10回福島県公立小・中学校教頭会研究大会会津若松大会
- ・研究主題 未来をひらく学校教育の推進と教頭のあり方